

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

## テレビ静岡 平成29年1月度 番組審議会概要

平成29年1月19日（木）

17時00分～18時00分

ホテルアソシア静岡 3階 橋の間

### — 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子  
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 深山 茂 瀬口勇一郎

### — 議 題 —

番組名 「REAL IMPACT 岡崎慎司 30歳の葛藤」

放送日時 平成28年12月4日（日）24時30分～25時25分  
テレビ静岡発 フジテレビ系全国27局ネット番組

制作著作 テレビ静岡

### — 番組内容 —

Jリーグ清水エスパルスを経て独ブンデスリーガで活躍した後に、昨シーズンには英プレミアリーグ・レスターの門をたたき、まさかの初優勝を果たした日本代表フォワード・岡崎慎司選手。献身的な守備からダイナミックな動きでチャンスメイクするプレースタイルで数々の階段を登ってきたが、今季は少し環境が異なっている。レスターはプレミア王者となり大型補強を敢行、参加する最高峰・欧州チャンピオンズ・リーグ（以下CL）を含めて、出場機会が激減しているのだ。自分が、日本が強くなるために何をしたらよいか、時にくやしさを滲ませ、自問自答を繰り返しながら、真のプロサッカー選手として現状を打破しようと試みる、等身大でリアルな岡崎選手の姿を追った。

— 審議概要 —

- ◎玄人に評判の良いシリーズもので、今回もテンポよく質の高い番組だった。何らかのコンペティションに出せるレベルだと思う。
- ◎番組では、独からの英レスター移籍、奇跡的な優勝、その後のチャレンジと、興味の湧く素材が揃っていて、大変興味深かった。
- ◎岡崎選手の人間としての生き様を観ていい人だと思った、ファンになった。
- ◎海外のプロスポーツに挑戦すること自体、「結果が出ないと使われない」厳しい環境であることが、リアルに伝わってきた。
- ◎世界第一線の選手が、高い目標設定だけではなく、小さな葛藤や挫折を繰り返しつつ、ポジティブな発想で乗り越え成長してゆく姿が描かれていた。
- ◎岡崎選手の「自分はこれだ」と信じて臨む考え方は、スポーツの世界にとどまらず、経営の世界や、文化の発信、海外生活などに通じて、ヒントを与えてくれる。
- ◎構成は、CLの3試合「出られない葛藤」・「ベンチ入りの期待」・「出場してゴール」の節に分かれてタテ軸がしっかりして解りやすく、ワクワクしながら観られた。
- ◎「チキショー!」、「CL、遠いー!」、「ディフェンシブFWだよ!」など、岡崎選手の生々しい感情表現が撮影されていて、感動して胸に刺さった。
- ◎自宅の様子などとてもリラックスしていて、ディレクターとの距離感が友人のように近く、本音のやりとりができていると感じた。なぜこんな取材ができるのか?
- ◎同じ海外経験のある、長谷部選手や高原選手のインタビューについて、「効果的だった」と、『献身的な守備』について一部解りづらかった」との意見が出された。
- ◎ロンドンで別れて暮らす家族について、「もっと知りたかった」と、「ひとりでサッカーと向き合うプロ意識が感じられた」との意見が出された。
- ◎“何度も繰り返し見てしまった”という事象の理由として、「とても面白かったので」と、「解らないところがあったので」という前提に分かれた。
- ◎「プレミア」、「CL」、「日本代表戦」など、リーグの違いや場所が複雑で、特にサッカーの知識がない人に対して解りづらく、テロップを長めに出す・地図表示・ナレーションなど補助的ツールで、できるだけ解り易くすべきだった。
- ◎放送時間帯が遅すぎる。小中学生のサッカー選手が見やすい時間に放送すべき。
- ◎タイトルだけでは抽象的で内容が掴みにくく、具体的なCLなどの情報を入れた方が視聴者に訴求できたのでは。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成29年3月9日（木）の予定です。